



福岡市議会議員(東区)
やまぐち
山口つよし



市民相談、4年間で
7,078件

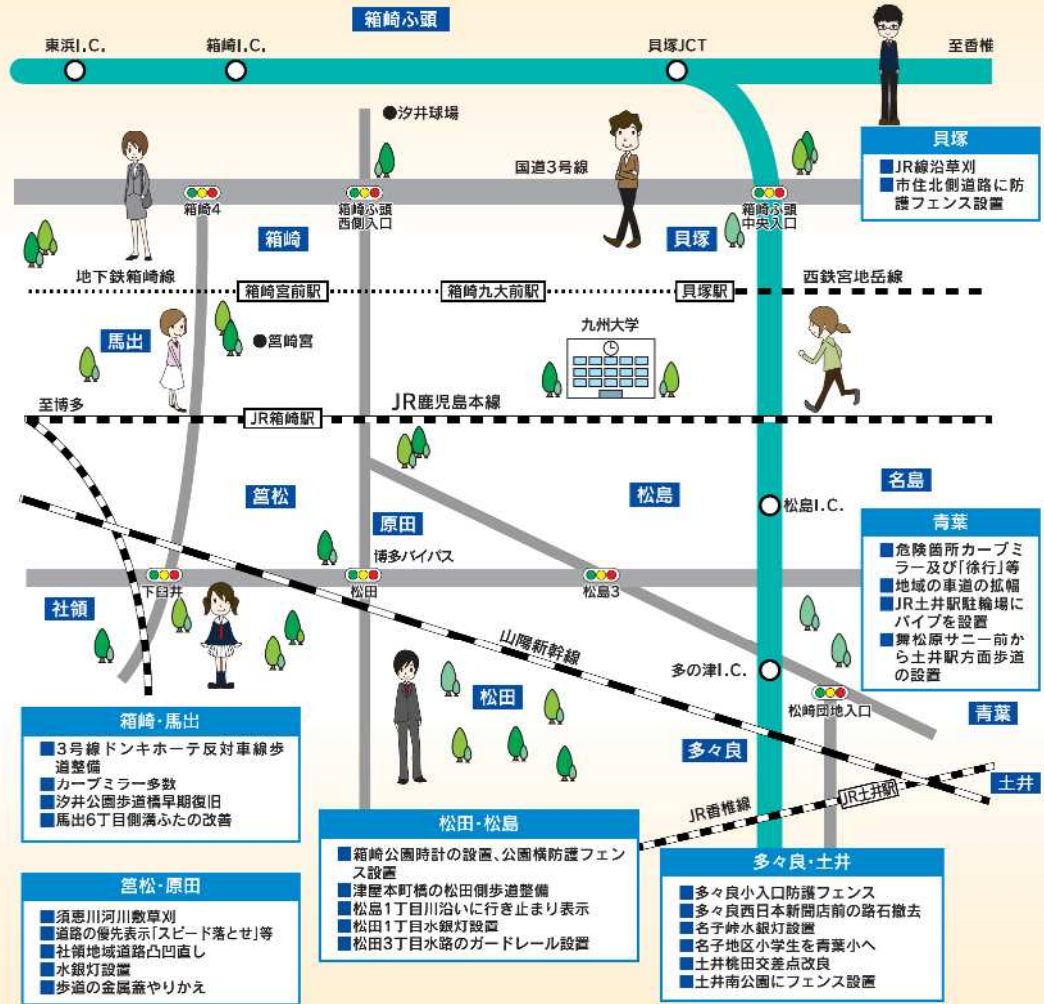
初めて
『**小学校選択制度**』の
導入を実現!!

バス通学で遠くの小学校へ通っていた名子地区の児童が歩いて通える近くの小学校に行けるようになりました。

防犯ブザーの配布で
子どもの安全対策を推進!!

危険な通学路の歩道に
防護柵を設置。

YAMAGUCHI MAP



これからの取り組み

みなさんに市議会に送っていただいたこの4年間、「市民の視点」に立ち、さまざまな問題に取り組みできました。教育や福祉、環境、経済振興など、どれも重要な課題です。一つひとつの問題を丁寧に、そして粘り強く取り組んでいきます。

経済

福岡市経済の活性化を実行していきます。また福岡に「来たい」「そう思われる」ような、魅力的な都市を作るために、観光客に配慮した町を造っていきます。

教育

通学路の防護柵の整備や児童全員に防犯ブザーの配布、防犯ボランティアの育成など、地域と教育機関、保護者がいっしょになって子どもを守って行けるような社会を築きます。

福祉

乳幼児と保護者が無い、傷病交差できない場の拡充や、育児負担の軽減など、費用負担も含めて子育てしやすい環境と高齢者や障がい者が安心して暮らせる町づくりに全力で取り組みます。

環境

地域の住民の方々とともに、和白干瀬のラムサール条約登録地を自認してまいります。またそうした活動を通して、環境保全の大切さなどを、子どもたちにも伝えていきます。

「4年間の主な実績」



共働き家庭と子どもたちを支援します

福祉や介護など高齢者の相談窓口を一本化しました

ご家庭での貯水タンク設置に助成金を

商店街の振興を支援して活気のある街を作ります



「留守家庭子ども会事業」は現在、市内137校区にプレハブ施設などが設置されています。しかしこの施設の多くは老朽化が進み、子どもの教育・安全の観点からも早急な増改築が必要な状態でした。公明党は、市に対して15年以上の施設を早急に増改築することを強く要求。その結果、市が当初予定した年間2、3施設の増改築を大きく上回る、年間15施設の増改築を目標に事業を取り組むことになりました。また、開設時間の延長や土曜日の開設、利用者負担に対する低所得者対策なども実現。共働き家庭の支援と希望あふれる子どもたちのためにも、様々な取り組みを続けてまいります。

高齢者が住み慣れた地域ですこやかに過ごすために、平成18年度から「地域包括支援センター」が新設されました。高齢者の介護予防の拠点として、健康相談や転倒予防教室などを開催しています。公明党では、このセンターをさらに使いやすくするため、あらゆる相談を受ける「総合窓口」を設けました。これによって、手続きや相談内容ごとに、いくつもの窓口に行かなくてはならず、大変不便だった状態が解消され高齢者へのきめ細やかな対応も期待できます。また、地域包括支援センターは複数校区単位で、市内28か所に設置しました。身近で使い勝手のよい窓口を設けることで、これからも高齢者の視点に立った政策実現に向けて、邁進してまいります。



独自の水源のない福岡市において水不足は大変重要な問題。公明党では海水の淡水化事業など様々な取り組みを実現してきました。その一方、福岡市の家庭単位では雨はほとんど利用されず、そのまま下水処理されているのも実情です。そこで公明党ではこの雨水を有効利用できるように貯留タンクの購入費助成を始めました。庭付き戸建住宅に住む市民が、雨どいから直接接続できる市販のタンク（蓋付きで容量100リットル以上を購入する場合、費用の2分の1工事費を含まない1万5000円）を援助いたします。一般的な市販品で容量200リットル5、6万円程度。なお、助成を受けるためにはタンク購入前に申請が必要です。公明党では水不足対策を、草の根レベルでも展開してまいります。



八百屋や魚屋、衣料店などが立ち並ぶ地域の商店街が今、過疎化の危機にさらされています。シャッターを下ろした店舗が目立ち、街全体も「元氣」を失っているのです。公明党では、商店街が再び活気を取り戻すことで、地域全体が活性化することを目指し、商店街支援の事業に真剣に取り組んでいます。たとえば、商店街に専門家を派遣し、活性化事業に助成する「ステップアップ支援事業」や、市民モニターと商店街との意見交換の場を設ける「商店街言いつ隊・聞き隊」による支援する「商店街空き店舗を有効活用できる」支援する「商店街空き店舗活用事業」など。商店街と地域との橋渡しをすることで、活力のある街づくりを目指します。

校区の異なる小学校に入学できない「小学校選択制」を實現

東区の名子地区には、家のすぐ近くに青葉小学校がありながらも、通学に時間のかかる多々良小学校に通わなくてはならない児童がたなくさんいます。こうした「校区」という見えない壁のために、苦勞して通学している児童の保護者からの要望を受け、平成15年2月には3500名の署名を集めました。その結果を携え、市に入学校を選択べる「小学校選択制」の重要性を訴えました。そして平成18年4月から名子地区の児童は、多々良小学校が青葉小学校かを選べるようになりました。これは福岡市では初の試み。今後、この「小学校選択制」を市全体に拡大していきます。

防犯ブザーの配布対象を拡大

子どもを狙った、悪質な悲惨な事件が後を絶ちません。特に犯罪に遭いやすい登下校時の犯罪から子どもを守るため、公明党の署名活動(9万3578人)では全生徒に持たせることを要求。現在予算の都合などもあり、福岡市の小学4年生までの児童が全員防犯ブザーを持つようになり、私は引き続き、全生徒への配布を求め続けながら、部活動で下校時刻が遅くなるりがちな女性生徒に優先的に防犯ブザーを持たせるよう本議案に強く訴えました。その結果、学校の判断で、ブザーを渡せるような仕組みを作ることができました。

とことん! 山口つよし物語

昭和33年 福岡市生まれ

大学卒業後、大手百貨店 若田屋に就職

母親に教えられた「母の心、母の情、母の愛、母の涙」

母親に「どんなことがあっても強く、信念に基づいて生きて行きなさい。正義を貫く人間になりなさい。」

4年間で 市民相談7078件

1. あなたの目標で、見つめます
2. あなたの声を、活かします
3. 若さとバイタリティーで、行動します

とことん一人のために! みんなのために!

アルバイトと奨学金で 過ごした学生生活

負けじ魂をこめ

山口つよしの経歴 福岡市議1期(福岡市東区選出)

- 昭和33年 福岡市生まれ
- 昭和46年 粕屋町立仲原小学校卒業
- 昭和49年 粕屋町立粕屋中学校卒業 (生徒会書記、サッカー部所属)
- 昭和52年 私立福岡大学附属大濠高校卒業 (生徒会役員として活躍)
- 昭和56年 創価大学経営学部卒業 (全寮文化委員長、大学祭・祭典企画運営委員長として活躍)
- 同年4月 株式会社若田屋入社 (婦人ヤングカジュアル売場配属)
- 昭和57年 同社外商部へ異動
- 平成11年 同社、外商部第4法人部長へ就任

- 平成15年 統一地方選挙にて福岡市議会議員(東区)初当選
 - 公明党福岡県本部青年局 次長
 - 平成16年 公明党福岡県本部青年局 局長
 - 平成18年 公明党福岡県本部危機管理室事務局長
- 家族 妻と2男1女
趣味 旅行、読書、スポーツ観戦
好きな本 三国志、永遠の都 好きな人物 周恩来、上杉鷹山
好きな言葉 滝のように堂々と男は王者の風格を帯び「負けじ魂」
- 【住所】〒812-0064 福岡市東区松田3-12-27 ☎ 092-611-6533
【URL】http://www.komei-fukuokacity.net/yamaguchi/
【E-mail】yamaguchi@komei-fukuokacity.net
【市役所控室】092-711-4728

